

# 北海道拓殖鉄道 学習レポート

## 今も愛され続ける物

みなさんは、知っていますか。北海道にある北海道拓殖鉄道、通称拓鉄のことを。

開拓を目的として住民が少ないところでも開業したが、当時から営業成績はあまりよくなく、補助金を受けなければいけない状況だった。そのため1949年には廃止になった区間もある。さらに1962年の台風9号による被害が重なり、営業はますます厳しくなって、結局瓜幕～東瓜幕を廃止、屈足～瓜幕もトンネルの問題から休止になってしまう。残る区間も1968年7月に休止され、そのあと廃止になった。

今はもう拓鉄は走っていないが、瓜幕にある拓殖鉄道駅跡地のように残されているところもある。跡地を残す理由は、瓜幕の場合北海道拓殖鉄道の本域開発の功績を永く伝えるためだ。瓜幕地域住民のみなさんが立ち上がり拓鉄の歴史を人々に忘れないでほしいため、平成16年7月に建立された。



開拓途中の様子

## 協力

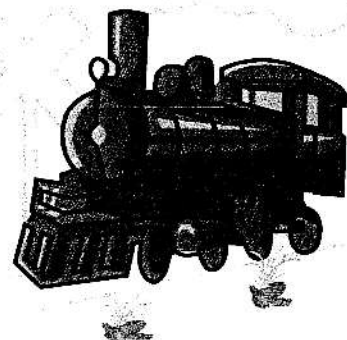
瓜幕・鹿追に線路と車両があり、瓜幕に留学してきたときから気になっていました。それが、北海道の開拓に使われていたものだというのが、今回の学習で分かりました。歴史的にも貴重なものがあり、こんなに身近にも歴史に貢献したものがあることと、当時使われていたものが今もなお残っていることがすごいと感じました。それを残すにもいろいろな人の助けがあり、すごく住民に愛されていんだと改めて感じました。



## あとがき

1年生になって初めてパソコンでレポートを作って、意外と内容にあった写真を選ぶのが大変でした。

パソコンなので色も変えられるので少しだけ鮮やかにしました。



# 北海道拓殖鉄道 学習レポート

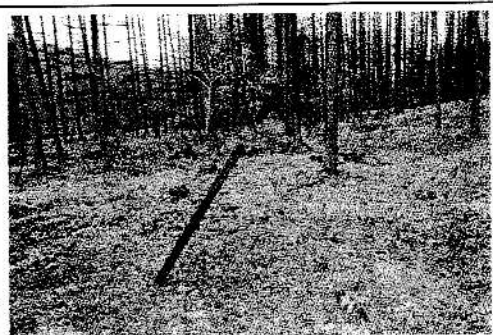
## 拓殖鉄道の歴史

皆さんは、昔北海道拓殖鉄道が通っていたことを知っているだろうか？この北海道拓殖鉄道は1928(昭和3)年、新得―鹿追の間が開通し1968(昭和43)年10月に全線廃止となった。

拓殖鉄道は名の通り開拓を目的として十勝平野北部に地元の有力な力によって作られた路線である。拓殖鉄道跡地が今も残っている理由は、故郷鹿追の限りのない発展の礎としての拓殖鉄道の歴史をここに住む人々は永く忘れることはないことを願って作った。

拓殖鉄道は清水にある製糖工場と木工所に全て手作業でビート、木材などを運んでいた。

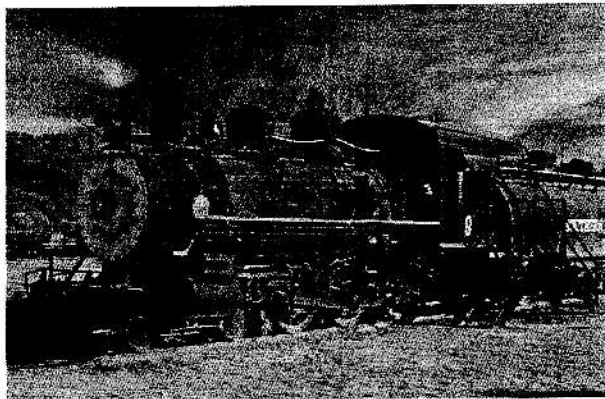
今は酪農や農業が盛んで、平野部のほとんどは農地となって消え去っている。今は跡地しか残っていない。



柏が丘の鉄道跡

## 感想

拓殖鉄道のことを調べたりして、瓜幕には3つの駅があったことを初めて知った。昔は車がなかったのでこの拓殖鉄道はすごく便利だったと思う。昔は、家の近くを通っていたので、私の家の人もこの拓鉄を利用していたのかなと思った。



## あとがき

今回パソコンで学習レポートを作った、文字を打つのが一番大変だった。拓殖鉄道について考えたことがなかったのでいろいろなことが知れてよかったと思う。これからも拓殖鉄道に目を向けていきたい。



# 北海道拓殖鉄道 学習レポート

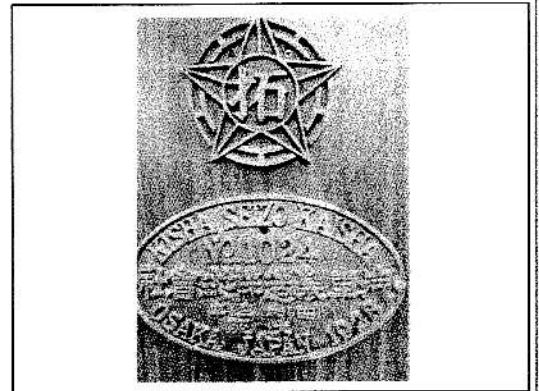
## 拓鉄が走っていた頃

北海道拓殖鉄道株式会社(拓鉄)は昭和3年に新得から作られ、昭和43年廃線になるまで、40年間鹿追町と共に歩み続けた。当時は、トラックがなかったので全部鉄道で物を運んでいた。おもに、木材やビートなどを運搬していた。そのころ、十勝には、鉄道がたくさんあった。当時は新得から東瓜幕まで1時間30分かかっていたそうだ。

鉄道建設は全て手作業で行っていた。そのため、とても時間がかかって大変だった。

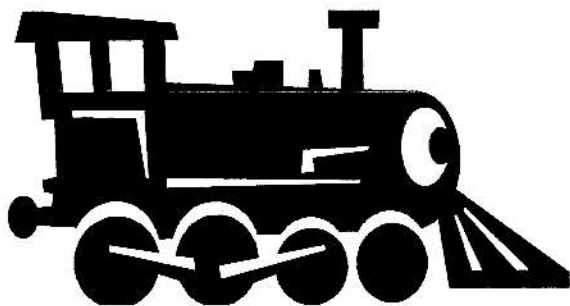
トンネルの入り口に扉があった。寒い時にトンネルに風が入ってくると、天井に氷柱ができてしまい、汽車のガラスが割れるのを防ぐためだ。

我が家の祖父に拓鉄のことを聞くと、当時の切符の写真を見せてくれた。また、「機関車の拓鉄マークを作ったんだぞー!」と教えてくれた。



## 拓鉄を学習して

今回拓鉄のことを勉強して、鹿追に拓鉄が走っていたことを初めて知りました。授業で昔拓鉄が走っていた道を探検して楽しかったです。また、おじいちゃんに話を聞いて、ためになりました。鹿追に拓鉄が走っていたことを知らない人に教えてあげたいです。



## あとがき

パソコンでレポートを作るのが大変でした。文字を打つのがあまり早くないからです。でも、完成してうれしかったです。

